

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		明るい地域づくり推進事業						予算事業名		明るい地域づくり推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	結城市安全で住みよいまちづくり条例							
				02	07	01	20	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業						
		安全に暮らせるまちづくり								重点事業						
		防犯対策の充実						担当課係等		防災安全課						
						交通防犯係										
事業期間		継続 (年度～ 年度)														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
防犯に関する取り組みを実施することで、犯罪発生の抑止、事件の早期解決に寄与し、誰もが安心して暮らせる犯罪のないまちを目指す。								結城市安全で住みよいまちづくり条例に基づき、防犯に関する施策を実施している。こうした防犯の施策はすべての自治体で実施している。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
○防犯灯設置補助金事業 ○特殊詐欺対策電話機等購入費補助金事業 ○防犯カメラ整備事業 ○防犯カメラ設置事業補助金事業								結城市民全体								
								【事業をとりまく環境の変化】 ニセ電話詐欺などの特殊詐欺や街頭犯罪が増加しており、対応電話機や街頭防犯カメラの需要が高まっている。								
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】								
○防犯灯設置補助金事業 ○特殊詐欺対策電話機等購入費補助金事業 ○防犯カメラ整備事業 ・小中学校近辺に設置する。 ○防犯カメラ設置事業補助金事業				○防犯灯設置補助金事業 ○特殊詐欺対策電話機等購入費補助金事業 ○防犯カメラ整備事業 ・小中学校近辺に設置する。 ○防犯カメラ設置事業補助金事業				○防犯灯設置補助金事業 ○特殊詐欺対策電話機等購入費補助金事業 ○防犯カメラ整備事業 ・小中学校近辺に設置する。 ○防犯カメラ設置事業補助金事業								
■事業費																
				R05年度		R06年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	814	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	3,644	6,516									
歳 入 計 (千 円)				4,458		6,516										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)										
	10 需用費			116		177										
	11 役務費			854		854										
	14 工事請負費			1,320		1,885										
	18 負担金補助及び交付金			2,168		3,600										
歳 出 計 (千 円) (A)				4,458		6,516										
伸 び 率 (%)						46.16										
備 考	総合計画74ページ、予算書74ページ															

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	人口千人当たりの犯罪率	件	目標	6.10	6.10	6.10
			実績	6.82	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	市内の刑法犯認知件数	件	目標	300.00	300.00	300.00
			実績	340.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	近年、様々な犯罪が凶悪化、増加傾向にあることから、防犯対策事業の必要性は高まっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の生命財産を守る事は行政の役割である。
	手段の妥当性	A 妥当である	施策の内容は必要に応じ結城警察署と協議しており、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	きめ細やかな施策を行うにはコストがかかる。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	市全体を対象としているが、施策によっては地域や対象者が限られるものがある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	全国の状況や県内他市町村の状況から、今後確実に効果が表れる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	着実に進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
防犯対策事業は、犯罪の発生を未然に防止することを目的に実施している。市の補助により自治会が設置する防犯灯は100基以上を新設交換するなど実績を上げているが、近年の犯罪はニセ電話による特殊詐欺の増加など巧妙になってきており、対策が難しい面もあるが市民の生活を守るため警察とも共同して事業を進めていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
防犯対策事業は、市のみならず警察や防犯協会、自治会などの団体や市民一人ひとりが取り組んでいく必要がある。今後も安全安心なまちを目指し、警察をはじめ関係団体や個人と協力しながら施策を進めていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 警察や防犯協会など関係機関との連携を強化し、市民の安全安心を守る施策を継続していく。なお、通学路への防犯カメラの設置は、小中学校近辺に設置するなど継続していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり